



平成 28 年 5 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学
代 表 者 名 代表取締役社長 永田 良一
(コード番号：2395 東証第一部)
問 合 せ 先 代表取締役副社長 関 利彦
(TEL：03-5565-6216)

神戸再生医療・医療機器研究支援室開設に関するお知らせ

当社は、再生医療や医療機器の開発研究の受託窓口として、平成 28 (2016) 年 6 月 1 日付で兵庫県神戸市・ポートアイランドの神戸医療産業都市内に神戸再生医療・医療機器研究支援室 (以下「研究支援室」) を開設し、先端医療の実用化を支援いたします。

神戸医療産業都市は先端医療の研究機関や医療機関、医療関連産業等の集積地であり、世界トップレベルの研究機関と、300 を超える企業・団体が連携を図りながら再生医療等の先端医療の実用化に取り組んでいます。

当社は、再生医療分野では複数の企業、研究所と共同研究を進めており、造腫瘍性試験¹⁾、RI²⁾あるいは IVIS³⁾を用いた体内分布試験⁴⁾の受託も増加しています。医療機器分野では、MRI⁵⁾、CT⁶⁾、デジタル式 X 線血管造影システムといった最先端のイメージング機器を、医療機器の有効性や毒性の経時的評価に活用しております。

今般、当社は基幹事業である前臨床試験⁷⁾受託事業で培った毒性、薬物動態、薬効評価のノウハウ及び上記共同研究で培ったノウハウを積極的に事業で活用するため、神戸医療産業都市に再生医療や医療機器の開発研究の受託窓口を設置し、再生医療や、有望な医療機器・医薬品等の先端医療が一日も早く患者様に届くよう、積極的な支援を行ってまいります。

なお、本件が当社グループの今期業績に及ぼす影響は現段階では軽微であります。

【拠点の概要】

- ・拠点名称：神戸再生医療・医療機器研究支援室
- ・所在地：神戸市中央区港島南町 1 丁目 6 番 5 号 国際医療開発センター (IMDA)
- ・事業内容：再生医療等製品、医療機器及び医薬品の開発研究受託窓口
- ・開設日：平成 28 (2016) 年 6 月 1 日

【用語説明】

1 造腫瘍性試験

ES細胞 (Embryonic Stem Cell: 胚性幹細胞) や iPS細胞 (Induced Pluripotent Stem Cell: 人工多能性幹細胞) には腫瘍形成能 (造腫瘍性) があることから、これらの細胞から作製した細胞加工製品には残存する ES細胞や iPS細胞による造腫瘍性のリスクが存在します。また、加工にともない造腫瘍性形質転換細胞が出現する可能性があります。これらをヒトに投与する前に確認する試験を指します。

2 RI (Radio Isotope: 放射性同位元素)

同位元素のうちで放射性をもつ元素を指します。

3 IVIS (In Vivo Imaging System: 生体内イメージングシステム)

生体内の微弱な発光や蛍光を測定する装置を指します。動物体内を非侵襲的に観察することができ、細胞等の体内での動きを経時的に観察することができます。

4 体内分布試験

動物に薬物や細胞を投与して、これらの体内での動きについて調べる試験です。

5 MRI (Magnetic Resonance Imaging: 磁気共鳴映像法)

磁気を利用して体内等の画像を縦横に撮影できる医療機器・磁気共鳴装置、またはその撮影法を指します。X線と比較して、ほとんど生体に影響(害)がないという特質を有します。

6 CT (Computed Tomography: コンピュータ断層撮影)

X線を利用して体の断面を撮影する装置、またはその撮影法を指します。

7 前臨床試験

ヒトの臨床試験の前段階として、ヒトでの安全性を担保する目的で、細胞や実験動物を用いて新規医薬品や新しい治療法等の効果や副作用を調べる試験を指します。